

事業所名

ビレッジキッズすんとう

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		三方よし（障がい者よし・地域よし・会社社員よし） ～安心・安全・安泰を創造し、社会提案を行い続ける～												
支援方針		『障害特性に合わせたグループ分け』児童全員が成長しやすく成長できる環境づくりを目指し、3つのグループで活動している。小集団にすることで児童1人1人の特性や強みを見つけやすくなる。『静』と『動』のメリハリを意識した支援を目指している。 『グループを超えた関わり』1日利用の日はクッキングや外出、製作等のイベントを月ごとに開催。グループの垣根を越え「集団」での活動を取り入れている。												
営業時間		平日	11	時	00	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	(地域による)
休日		8			00		18		00					
支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・改善(来所時の体温測定、家庭や学校との連絡。意思表示が困難な児童のサインに気づけるような細かな観察をする。) ○生活習慣や生活リズムの形成(それぞれの子どもに合った身体的・精神的・社会的な訓練を行う) ○基本的な生活スキルの獲得(身の回りを清潔にし、排泄や食事など生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援する) ○生活におけるマネジメントスキルの育成(環境を整える。また障害特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する)												
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上(姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、変形の予防、筋力維持・強化)例：マッサージやうつ伏せ運動で筋肉をほぐす。 ○姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用(補助用具等の補助手段を活用して支援する) ○身体の移動能力の向上(歩行や歩行器、補装具、車いすなどによる移動能力の向上のため、歩行訓練を行う) ○保有する感覚の活用(保有する視覚・聴覚・触覚の感覚を遊びを通して活用できるように支援する)例：粘土や、スライム、動物の鳴き声クイズ ○感覚の特性への対応(感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をする)例：音過敏な児童に対して、イヤーマフを利用。												
	認知・行動	○認知の特性についての理解と対応(視覚・聴覚等を活用し、環境から情報を取得し必要なメッセージを選択して行動に繋げる一連の認知家庭の発達を支援する) ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得(物や空間時間等の概念の形成を図り、数量、形の大きさ、重さ、色の違い等が分かり、認知や行動の手がかりとして活用できるように支援する) ○行動障害への予防及び対応等(感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさからの行動障害の予防と適切行動への対応支援)												
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的能力の向上(配慮された場面での人との相互作用を通して自分に合った意志の伝達方法を知り、自分の気持ちを出せるように支援する) ○言語の受容と表出(言葉や文字等を使って相手の意図を理解したり、自分の考えを伝える支援をする) ○コミュニケーション手段の選択と活用(絵カードや機器等のコミュニケーション手段を選択・活用し環境理解と意思の伝達ができるように支援する) ○状況に応じたコミュニケーション(子どもが意見を出しやすい環境を作る)												
	人間関係 社会性	○情緒の安定(人間関係の意識と身近な人と親密な関係を基盤とした、周囲の人と安定した関係を形成する支援) ○他者との関わり(人間関係)の形成(職員との信頼関係を築く) ○遊びを通じた社会性の発達(遊びを通して人の動きをまねする中で社会性や対人関係の芽生えを支援する)例：職員を介し他児童との関わりを増やしお互いの存在感を確かめる。 ○自己の理解と行動の調整(できる事できない事など自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整が出来るように支援する) ○仲間づくりと集団への参加(集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団生活に参加できるように支援する)												
家族支援	家庭支援の為、送迎時には児童の情報共有を行い、6か月に1回、面談の機会を設ける。家族が参加できるイベントを提供し、放課後等デイサービスでの様子を見て頂けるような支援を行う。						移行支援	ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備をおこなう。特に同法人内の就労や生活介護事業所との連携をすることで、本人や家族が将来を見据えた行動が取れるよう支援する。						
地域支援・地域連携	地域の中に居場所を持つことができるよう、普段から、地域全体の子育て支援を活性化するためのネットワークを構築する。学校との連携強化。(見学会の参加)						職員の質の向上	専門研修(強度行動障害、重度心身障児)・新人研修・社内研修。PT・OT等の見学。						
主な行事等	クッキング、外出訓練、買い物訓練、運動会、避難訓練													